

各位

積水化学工業株式会社

## 陸上養殖事業を展開する「株式会社 FRD ジャパン」の第三者割当増資の引き受けについて

積水化学工業株式会社(代表取締役社長:加藤 敬太、以下「当社」)は三井物産株式会社他5社\*1とともに、株式会社 FRD ジャパン(代表:辻 洋一/十河 哲朗、以下「FRD」)の第三者割当増資を引き受けることを決定しましたのでお知らせいたします。

\*1 エア・ウォーター株式会社、株式会社 STI フードホールディングス、株式会社長谷工コーポレーション、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行

### 1. 背景

当社の環境・ライフラインカンパニー(プレジデント:平居 義幸)と関係事業会社(以下、「積水化学グループ」)は、1952年に国内初となる塩化ビニル管を発売以来、住環境、公共インフラ、民間プラント分野における樹脂成形加工のトップランナーとして、高付加価値プラスチック製品を展開してきました。さらに長期ビジョン「Vision 2030」\*2の実現に向けて、「水活用・水循環」を革新領域として定め、水処理技術での課題解決に向けたオープンイノベーションを加速させています。

FRDは2013年の設立以来、独自開発の閉鎖式陸上養殖システムによるサーモトラウトの養殖・販売を展開しています。海水を引かず、バクテリアを利用した高効率の水循環を実現する水処理技術と、豊富な経験に基づく養殖オペレーションや流通ノウハウを組み合わせることで、陸上養殖の産業化にめどを付けました。(7月中に商業プラントを着工、2026年操業開始予定)

\*2 当社中期経営計画説明会資料(長期ビジョン該当ページ:P14)ご参照

[https://www.sekisui.co.jp/ir/event/vision/\\_icsFiles/afieldfile/2023/05/23/20230523kg\\_4.pdf](https://www.sekisui.co.jp/ir/event/vision/_icsFiles/afieldfile/2023/05/23/20230523kg_4.pdf)

### 2. 資本参画の狙い

今回の資本参画により、双方の技術・事業を融合させることで、水資源、食糧問題あるいは省エネルギーといった多様な社会課題の解決に貢献、サステナブルな社会の実現を目指し、主に次の2つの施策に注力していきます。

- ① FRD 陸上養殖事業に向けた積水化学グループの水処理デバイス\*3の展開
- ② 双方の技術・事業シナジーによる次世代水処理デバイスを用いたグローバルでの水処理問題解決

\*3 当社水処理デバイス一覧(積水アクアシステム株式会社他) <https://www.sekisui.co.jp/plant/#processing>



### 【ご参考】閉鎖式陸上養殖と事業化の課題

世界的な人口増加や生活水準の向上を背景に、水産物の需要は年々増加し、養殖の重要性が高まっています。一方、海面での養殖は適地が限られ、供給余力に限界があることから、近年では陸上養殖が注目されています。とりわけ年間 30 万トン規模の消費量がある養殖サーモン類は、その多くをノルウェーやチリからの空輸に依存していますが、既に需給がひっ迫しているのに加え、電力・飼料高騰などの事業課題に対応すべく、養殖事業各社は生産効率向上に取り組んでいます。

このような背景の中、FRD の「閉鎖式陸上養殖」は、バクテリアを利用した高度濾過技術により、天然海水を使用せず、飼育水を閉鎖循環させながら水質を維持することが可能です。これにより、従来の陸上養殖で高コストの要因となっていた取水時の水温調節費用や、魚病の侵入リスクを大幅に減少させ、場所を選ばず内陸での養殖が可能となります。



FRD 商業プラントパース図



FRD 閉鎖式陸上養殖イメージ

### 3. FRD の概要

名称	株式会社 FRD ジャパン
事業所	本社:埼玉県さいたま市岩槻区 実証実験プラント:千葉県木更津市
設立年	2013 年 12 月
代表者	辻 洋一、十河 哲朗
事業内容	閉鎖循環式陸上養殖事業

以上

〈本件についてのお問い合わせ先〉  
積水化学工業株式会社 コーポレートコミュニケーション部 広報グループ (担当:小澤)  
E-mail:kouhou@sekisui.com